

寒川町議会議員

小泉しゅうすけ 議会報告



2020年秋号

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

令和2年9月議会のご報告

寒川町議会では令和2年度（2020年度）9月議会が8月27日から9月28日まで、9月第2回会議が9月30日に開催されました。本会議においては主に新型コロナウイルス感染症対策、寒川駅南口整備と小学校の用地所得などの寒川町一般会計補正予算(第6号)、寒川町町税条例の一部改正、令和元年度寒川町一般会計歳入歳出決算の認定について、さらにプレミアム付き寒川町共通商品券の追加発行やインフルエンザワクチンの無償接種などの補正予算(第7号)など、併せて17議案が審査され、全てが原案通りの採択となりました。

○倉見駅と宮山駅が改良されます○

倉見駅は現在、エレベーター設置のための工事が進んでいます。令和3年（2021年）2月末に完成予定です。この工事が完了しますと、町内のJRの3駅は全て、車椅子や足の不自由な方にも使いやすい、バリアフリー化が完了することとなります。

宮山駅についてはトイレの改良を含めた駅舎の改良工事が、これから行われる予定です。既に設計は完了し、年度内に工事が開始され、令和3年（2021年）12月に完成予定です。

○小・中学生に一人一台のICT機器が配備されます○

国の方針もあり、デジタル化が進むこれからの時代を見据え、寒川町でも全ての小学生と中学生に対し、今年度内に一人一台のICT機器が配備されます。当町では子ども達に親しみやすく、学習環境も整っているタブレット端末が配備されます。今後は授業における活用、さらに災害や感染症の発生時に学びを保障できるようにすることを目指しています。

○さむかわ庭球場が再整備されます○

ただいま再整備中の町営プール（令和3年3月までに完成予定）に続き、さむかわ庭球場の再整備も行われることとなりました。令和4年度に再整備作業が行われ、令和5年度にリニューアルオープン予定です。コート数を4面にし、夜間照明も整備され、砂入り人工芝に変わることが予定されています。



寒川駅前にて街頭宣伝活動(8/22)

コロナ以降のまちづくりについて

9月議会での一般質問は、6月議会に続き、新型コロナウイルス感染症への対策により各会派から一名という形で行われました。私が所属する会派・大志会では会派議員4人がそれぞれ質問を持ち寄る形で実施しました（議場では私、小泉しゅうすけが実施）私からは「コロナ以降のまちづくりについて」として、コロナ渦を受けた新しいまちづくりについて質問を提出しました。

次年度以降、新型コロナウイルス感染症に伴う景気の落ち込みにより、町の税収も落ち込むことが想定されます。そうした中、景気が後退しても税収を確保していくことは、町民の皆様のための福祉を維持していくためにも、とても重要なことです。そのためにはまちづくりが欠かせません。まちづくりが成功し、経済活動が活発となり人口が増加すれば、必然的に税収は確保されるからです。

そうした観点から、コロナ渦を経験した今だからこそ、新たなまちづくり、特に倉見地区のツインシティが掲げる環境共生都市の確かな歩みを目指して、質問や様々な提案を行いました。

○コロナによる税収減の中で新幹線新駅や拠点整備は○

質問：来年度以降、コロナによる景気の落ち込みに伴い、税収減も想定される。そうした中、新幹線新駅のための財源確保、そして新駅や倉見の拠点作りの今後について、町としてはどのようなビジョンを描いているのか。

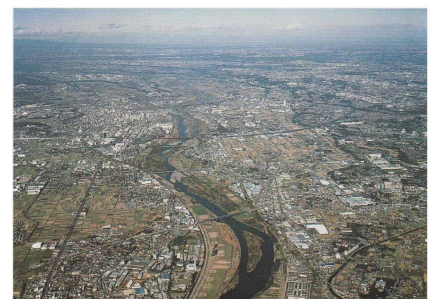
町の回答：コロナ感染拡大の状況を受け、次年度以降の税収減も懸念される一方、今後の田端西地区での工業系土地利用が順調に進むことで、税収が見込まれる要素もある。厳しい財政状況下にあっても、新駅実現のため引き続き基金の積立てに努めていく。

○新幹線の乗客数低下で新駅誘致は○

質問：倉見のまちづくりでは東海道新幹線新駅の設置を目指しているが、コロナの影響により新幹線の乗客数は減少している。新駅を目指す中でも、乗客数の回復が見込めない状況下では誘致についても支障が出るのではという心配もある。町としての見解は。

町の回答：長距離移動の役割はリニア中央新幹線に移行するので、その後の東海道新幹線は、中距離の都市間移動の役割を担う。倉見に新駅が設置されれば新たな交流連携やビジネスでも新たな使い方も期待されるので、新駅の必要性は十分にある。また昨年度、初めてJR東海と技術相談をする場を持つことができた。今後もJRとの対話を重ねながら、県や関係自治体との連携を図りつつ、新駅誘致に取り組んでいく。

ツインシティ整備計画



平成14年4月

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会
神奈川県

ツインシティ整備計画(2002年)

○コロナ禍においてツインシティが目指すビジョンは○

質問：倉見のまちづくりにおけるツインシティ計画では環境と共生する都市が謳われている。コロナ禍においてこのビジョンは先進的と思われるが、町としてはどう捉えているのか。

町の回答：将来像として、相模川の河川空間及び周辺の農業、田園環境などとの共生を図りつつ、省エネルギー型、循環型、低環境負荷型の地球環境に優しい環境共生都市を目指し、クリーンエネルギーや環境に優しい交通システムの導入などの仕組みづくりを謳っている。町としても、相模川の河川空間の利活用や都市空間との連携、バスの方面設定をはじめとする公共交通機関の充実による環境負荷の低減など、環境共生の考え方は倉見地区に重要な要素と考えている。

○新しい生活スタイルとまちづくり○

質問：18年前から倉見のツインシティのまちづくりのビジョンでは、新しい生活・ワークスタイル・テレワークなど、コロナ禍において提唱され、普及した姿が描かれている。東京との距離の近さを考えると、コロナ禍を受け推進された、地方における企業のサテライトオフィスとしての整備や誘致も想定されるべきでは。

町の回答：ツインシティの目指す都市像では、他にも高速交通体系の結節機能を活用した拠点整備、新しい産業を創出・育成する機能誘導を通じて、職住近接などの新たな生活スタイル、ワークスタイルを実践することが掲げられている。また新型コロナウイルス感染拡大をきっかけとし、図らずもツインシティ整備計画で掲げた都市づくりが求められる状況に至ったと考えている。その実現を可能とする新駅を想定した倉見地区の地理的優位性は、ますます高まっていくと認識している。

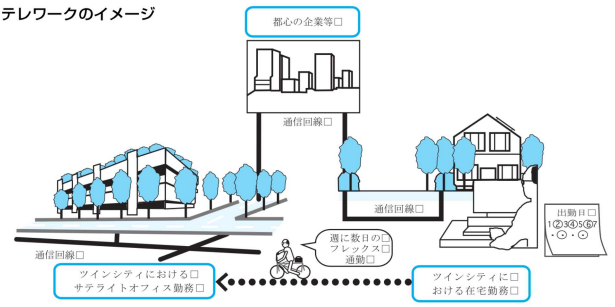
④ 新しい生活・ワークスタイル実践都市

環境共生、高度情報化社会、少子高齢化社会に対応した新しい生活スタイル、ワークスタイルを実践する都市を目指します。



環境共生モデル都市ツインシティより
「新しい生活・ワークスタイル実践都市」抜粋

テレワークのイメージ



ツインシティ整備計画より
「テレワークのイメージ」抜粋

○町内の各地域が連携したまちづくり○

質問：これまではある種の夢として語られてきた新たなまちづくりが、これからは社会が求めるまちづくりに変わってきた。そうした中で、より力強く倉見のまちづくりを進めていくべき。そして倉見に関しても、町内全体のまちづくりの中でしっかりと捉えていくべきと考えるが、現在検討中の総合計画2040プランの実施計画において、倉見のまちづくりに関して、項目が設けられていないのは気になる。町はどのように各地域が連携したまちづくりを考えているのか。

町の回答：総合計画2040で倉見地区整備事業については、体系図から特出しして位置づけなどの方法で調整している。新駅が実現すれば、交流人口などの増加が見込まれるので、新駅周辺まちづくりと並行し、寒川駅周辺地区との鉄道やバス交通などの充実を図ることや、特に田端西地区においては、さがみ縦貫道路の寒川南インター、寒川北インターチェンジを利用するなど、地域内のネットワークを構築することによる拠点間の有機的な連携強化に努めていく。

補正予算で決まった新型コロナウイルス対策について

○高齢の方を対象にインフルエンザのワクチン接種が無償化されます

今年新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されることから、感染リスクの高い高齢の方の健康を守るため、インフルエンザのワクチン接種が無償化されます。65歳以上の方、もしくは60歳から64歳で心臓、腎臓、呼吸器または免疫機能の障害により1級の身体障害者手帳を持っている方が対象です。詳しくは町ホームページ <http://www.town.samukawa.kanagawa.jp/oshirase/12365.html> もご覧下さい。

○プレミアム付き寒川町共通商品券が追加発行されます

町の経済対策として、9月に5万札が発行され売り切れとなったプレミアム付き寒川町共通商品券が追加発行されます。次は10万冊発行、1冊3000円で一家族最大10冊まで購入可能、事前申込制、寒川町内在住者限定、使用期間は3月まで延長予定となります。

11月

寒川町議会議員 小泉しゅうすけ
タウンミーティングのお知らせ
2020年11月8日(日曜)13~15時
寒川町民センター 視聴覚室



寒川町議会議員の小泉しゅうすけです。この度、町民センターで11月8日(日)13時より開催するタウンミーティングでは、私からは議会の報告を、ご来場いただいた皆様方からはご意見・ご要望を頂く場にしたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。なお新型コロナウイルス感染防止のため、施設の規約に従い、氏名・連絡先を頂くこと、マスクの着用など、一定の制約がございますのでご理解の程よろしくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症に伴いお困りの方へ

『新型コロナウイルス感染症に伴い経済的に厳しくなった』『生活が苦しくなった』など町民の方々から様々なご相談を頂き、これまでも解決に繋げて来ました。国や県などによる制度にもしっかりと繋いでいきます。お困りの方はお気軽に小泉しゅうすけまでご相談下さい。

小泉しゅうすけ(秀輔)プロフィール

1978年8月2日生まれ 現在42歳。IT系大手メーカー勤務/ゲームシナリオライター、衆議院議員阿部知子の秘書を経て、2017年の町議選に当選。寒川町町議として1期目。立憲民主党青年局副事務局長。議会では会派・大志会所属、建設経済常任委員・総務常任委員・東海道新幹線新駅対策特別委員会副委員長。また町の青少年問題協議会委員。地域では現在、寒川消防団員・寒川ライオンズクラブ会員・寒川青年会議所シニアクラブ理事・衛生指導員としても活動中。寒川神社総代(平成30年度)・寒川青年会議所会員も歴任。



小泉しゅうすけとあたたかな寒川を作る会 2020年10月発行(通算17号)【討議資料】
〒253-0106 寒川町宮山1268-4クレイン栗原D号室
Tel: 080-7016-4802 Mail: koizumi@samukawa.info Web: <http://koizumi.samukawa.info/>